



No. 223

平成27年4月28日

編集: 区議会だより編集委員会

発行: 千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1

☎ 3264-2111 内線3315

ファクシミリ 3288-5920

第1回 定例区議会



千鳥ヶ淵のサクラ

トップニュース

Top News

平成27年度予算、今後10年の行財政運営を見据えた基金の 再編・新設、新たな基本計画推進に向けた組織条例改正等を可決！

■平成27年度千代田区一般会計予算

総額は504億1,062万4,000円で、前年度当初予算に比べ6.9%、32億4,129万8,000円の増額となります。

■千代田区組織条例の一部を改正する条例

「豊かな地域社会」の実現を目指す新たな基本計画の推進と、オリンピック・パラリンピックの開催を契機とする中長期的な取り組みを推進していくための体制を構築するため、部の再編を含む組織の抜本的見直しを行いました。

主な内容

- 代表質問 2 ～ 3 面
- 一般質問 4 ～ 5 面
- 定例区議会活動報告等 6 ～ 9 面
- 議案の審議結果等 10 面

提案された議案等

◆区長提出議案等

- ・ 条例 21 件
- ・ 予算、契約等 13 件
- ・ 報告 3 件

◆委員会提出議案

- ・ 条例 1 件
- ・ 意見書 1 件

◆議員提出議案

- ・ 条例 1 件



●ホームページアドレス

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp



<QRコード>

＊この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。

平成27年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

桜井 ただし

平成27年度予算編成と執行体制

問 ①「ちよだみらいプロジェクト(案)」での目標達成に向けた予算編成の取り組みは②今後10年間の財政計画推計の見通しは③組織整備において㊦オリンピックは全庁的取り組みが必要。専管部署が事業部で十分な調整が可能か④「子ども・教育部」から「子ども共育部」への名称変更は、区民に分かりづらく説明を要する。

答 ①各事業に指標と目標値を設定し、予算概要に示した②基金を再編し活用することで、継続的な財政運営が可能③㊦事業部が副区長をトップとした対策本部会議の事務局を務め、イニシアチブを持ち推進④議会の議論等を踏まえ、教育委員会の中で再度議論し決定。

次世代育成施策について

問 ①保育園・学童クラブの待機児ゼロの維持に向けての対応②在宅による子育て家庭への支援③保育士確保の方策④質の高い保育実施に向けた取り組みは。

答 ①5年間で保育所561名、学童クラブ303名の定員増を予定②児童館での子育て相談・一時預かり保育等を実施。支援関係者とネットワークの構築・連携に努める③1人あたり上限2万円を給与に上乗せ補助、また、職場の環境改善経費補助を実施し処遇改善を図る④区立・私立の各園に保育士育成のため、大学教授等の学識経験者を招き、現場での実践的研修を実施予定。



高齢者総合サポートセンター 外観イメージ

新しい千代田

はやお 恭一

基金の再編と今後の財政運営

問 ①当初積立額を固定しない等、新規設置の基金には柔軟な運営が必要②各事業部が財政運営・財源管理を意識し、事業を実施する趣旨を全庁的に共通認識しているか③基金は家計で言えば貯蓄。経常的な経費化を回避し臨時的・投資的経費に充当すべき。

答 ①柔軟な運営に努める②趣旨は共有しており、効果的な事業展開を図る③財政規律の視点で適切に活用する。

高齢者の医療と介護の連携

問 ①在宅医療連携拠点の整備状況及び方向性は②施設と在宅の連携を円滑にする介護老人保健施設整備への取り組み状況は。

答 ①在宅療養支援ネットワーク構築等を実施。高齢者総合サポートセンターを中心とし推進に努める②100名程度の施設整備を予定。医療と介護の切れ目のない提供に努める。

今後の自転車施策

問 ①コミュニティサイクル事業の現状及び方向性は②自転車通行環境の整備計画は③近隣区との連携は。

答 ①②③1月末現在、サイクルポート27カ所、自転車約250台、会員約5,000名、延べ利用29,000回超。広域化に向け近隣区や都と協定締結を図り、通行環境を含む利便性向上に取り組む。



日本共産党区議団

飯島 和子

第2子以降の保育料無料化

問 新年度からの第3子以降の保育料無料化は条件が厳しく該当者は限られる。子育て支援の拡充として第2子以降の保育料を無料化とすべき。

答 前回の定例会において保育料の値上げを行わず第2子を半額、第3子以降は無料化した。今後は、多くの保護者が負担軽減となるよう努めていく。

75歳以上の医療費助成

問 75歳以上の3割の方が、医療費の窓口負担3割で負担感が大きい。早期発見・治療は重篤化を防ぎ、医療費の抑制につながる。窓口負担無料化に向け、まず、3割から2割負担に軽減を。

答 日本の医療費の36%が後期高齢者医療費で占められている。今後10年で急速に増えることが想定され、応能負担への見直しが進められている。よって、この状況下では、負担の軽減は適切でないと考える。

介護報酬引き下げについて

問 介護報酬削減で、特養老人ホームの5割が赤字となる試算が発表された。これは人件費にも影響し人材確保がより困難になると思われる。区の認識は。

答 サービスの利用増加に伴う見直しはやむを得ないと認識。本区においては、平成16年度より独自の助成制度を実施しており更に拡充を図っていく。



平成27年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

公明党議員団

大串 ひろやす

平和と人道の世紀へ

問 今年は戦後70年であり、本区にとっては「国際平和都市千代田区宣言」から20年という節目の年である。平和と人道の世紀へ向けて、私たちは行動していかなければならない。具体的には、平和都市宣言にあったように、「世界の人々との連帯」が必要である。国や民族、宗教等の違いを超えた「市民社会の連帯」だ。その連帯を築くためには、人間としての尊厳、生命の尊厳をお互い守り抜くという誓いを持つことが重要だ。そこで①平和・人権施策推進についての基本的な考え方は②これまでの20年間の成果及び今後の取り組みは③日中韓3カ国による子どもの交流事業を提案する。所見は。

答 ①豊かな地域社会とは、さまざまな違いを乗り越え、認め合い、お互いの人権を尊重し合い、個人の個性と能力が十分に発揮できる地域社会である。よって、区民と共に、この地域社会を目指し取り組むことが、市民社会の連帯にもつながると考える②平和の尊さを直接肌で感じ、平和・貧困・人権等の問題を考える機会を提供してきた。20周年記念事業による平和都市宣言の意義の再確認や平和への思いの継承等に取り組む③子どもの交流は重要。現地の実態等を調査し可能性を検討する。

その他、「子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例」について質問がありました。



地球市民ツアー報告書

ちよだの声

小林 たかや

地域コミュニティの再生策は！

問 ①区の地域コミュニティの基本的な考え方は②地域コミュニティに関して、マンション居住者と町会の関係をどう考えるか③町会とマンションをつなぐコンシェルジュの育成・配置について区の見解は④事業者の責務や情報提供を規定する条例を制定してはどうか。

答 ①地域への愛着や帰属意識を持ったさまざまな人々、組織や集団とのつながりと認識②今までの概念にとらわれない新たな発想が必要。マンション居住者の意向を把握し、良好な関係構築に向けた施策の方向性を検討③「ちよだマンションカフェ」を設置し、地域の生の声を聴く中で議論している④効果や有用性を慎重に検討する必要がある。

ICT教育について

問 ①どんな方針で各学校にICT機器を多数配備したか②担当教員のスキルアップへの取り組みは③現状のICT支援員の派遣回数では不十分④更なるタブレットの活用法をどう考えるか。

答 ①主体的・協働的・創造的に生きる力を身につける教育の有効策の一つとして実施②校内研修によるリーダー育成、教育研究所で機器を活用した効果的授業を研究し学校への浸透を図る③トラブル事例を検証し回避情報の交換等を通じ職員対応力の向上を図る④現段階では、まずは授業中での活用が肝要。

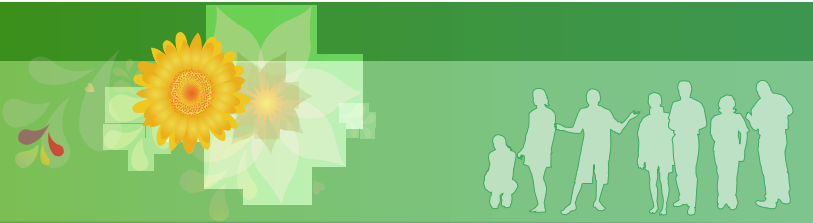


教師とICT支援員による授業



平成27年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

内田 直之 (自民)

「ちよくる」の可能性と今後の課題

- 問** 「ちよくる」は大変好評だが、サイクルポートの不足、ICカードの感度の低さを改善し、将来的に主要な公共交通として推進すべきと考えるが見解は。
- 答** ポート候補地の施設管理者等と協議を進めていく。マンションポート設置・ICカードの感度は実証実験期間の中で順次、検討・改善する。広域化のための調整・連携を含め、利便性の高い移動手段となるよう努めていく。

大学図書館の区民利用推進

- 問** 区内大学図書館をもっと区民が利用しやすい環境へと整備すべきでは。
- 答** 利用内容や利用者負担軽減の検討を行い、大学図書館と協議していく。その上で、区民向けの一層のPRに努め、利用しやすい環境を構築していく。

高澤 秀行 (千代田)

健全な学校生活を送るために

- 問** ①本区のいじめの現状をどう把握・分析しているのか②いじめ問題が起こった場合、どう対応しているのか③情報教育について、リスク回避の指導内容は。専門性を持った指導者はどのくらいいるのか④防災教育の内容は。
- 答** ①教育委員会は、学校で認知された全ての報告を受け、不明点は聞き取りを実施。毎月、発生・未解決件数及び解決への取り組み等の報告を学校から受ける②教職員によるいじめ防止組織を中心に事実の確認、解決を図る。解決に至らない場合等は外部有識者による助言結果等に基づき対応③情報モラル学習ソフトによる授業等。調査では、本区の約7割の教員が指導できると回答④避難訓練等の他、小学校では防災学習施設での体験学習、中学校・中等教育学校では救命講習会。

永田 壮一 (自民)

戦後70年イベントについて

- 問** 戦争の悲惨さだけを強調したり、理想論で平和を発信することは無責任ではないか。紛争・テロが絶えない世界の実情、現実的な安全保障の観点から平和を考えるべきではないか。
- 答** 貧困・平和・人権を市民同志でお互いに考え、交流を繰り返し行うことが平和につながる。

危機管理の取り組みについて

- 問** 大規模災害、テロ等有事に備えるために自衛隊・警察・消防との連携強化が必要。特に危機管理業務に退職自衛官採用を求める。
- 答** 消防庁職員を派遣受け入れしている。退職自衛官採用は他自治体の事例を参考にする。近年は無いが大規模な訓練の際には自衛隊とも協力して行う。

木村 正明 (共産)

国保の都道府県広域化について

- 問** ①一般会計から国保会計に繰り入れてきた高額療養費を、段階的に保険料に賦課していることが、国保料を押し上げる要因②国保料値上げと徴収強化をもたらす広域化には反対すべき。
- 答** ①都道府県移行時の保険料の急激な上昇等を避けるため必要②「国民皆保険」堅持には医療保険一本化が必要。広域化は一つのステップとして評価。

日テレのスタジオ棟建設の問題

- 問** ①近隣住民等の合意なしに、法的手続きに入らないよう、建築主への働きかけを求める②教育環境の保全を区の責務とした条例制定を求める。
- 答** ①一方的な働きかけは困難②共育マスタープラン等を適切に運用する中で、維持・保全に努める。

河合 良郎 (千代田)

千代田区景観まちづくり

- 問** ①景観行政団体に向けた取り組みと進捗状況②史跡・江戸城外堀跡における景観まちづくりの考え③都市景観に対し、要望があった場合の対応は④地区計画等に史跡・江戸城外堀跡保存計画を取り入れた活用は。
- 答** ①平成5年に都市景観形成方針、平成10年に景観マスタープランを策定。現状、大規模建築物関係の都市計画等の権限は都にあるが、景観行政団体に関する議論を都と行っていく②史跡・江戸城外堀跡保存計画は、史跡保存だけでなく、江戸の風致を残す地域として、史跡活用方針を示している③まちづくりに関する意見・要望はさまざまあり、地域のまちづくりの気運を捉え合意形成を図り対応していく④区民が関心を持って議論できる一つの方策として、さまざまな観点から考えていく。



平成27年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

寺沢 文子

(声)

高齢者の安心を図るために

問 ①介護報酬改定に伴う施設の減収額と事業所職員への支援は②制度改正で特養ホーム入所要件が、原則要介護3以上となるが、要介護2、1の入所希望者への対応は③認知症理解を深める方策は④高齢者住宅の充足率とサービス付高齢者住宅設置支援の考えは。

答 ①施設の減収は総額約5,800万円、職員処遇改善加算の増収が約3,000万円となる。施設には区独自の助成事業の拡充を行う②要介護1から受付を実施。入所順は入所調整委員会が決定する③認知症学習会等を出張所ごとに開催、認知症サポーター養成講座で養成数延べ5,000人を達成④本区は今年度3%になる見込み。支援は高齢者向け優良賃貸住宅にサービスを付加し運営している。今後は多様な生活支援サービスの仕組みづくり、居住形態を考えていく。

岩佐 りょう子

(民主)

共生の理念の実現について

問 ①基本計画における多様性と共生に関する見解②地域福祉コーディネーターの人材確保と養成は。

答 ①自分らしい生き方が選択でき、その選択が認められ参画できる社会の実現を目指す②社会福祉協議会で各出張所地区に担当を設置している。この担当が地域福祉コーディネーターとして、相当程度の役割を果たしている。

子ども・子育て新支援制度

問 ①実態に合わせた待機児童数の公表が必要②子ども・子育て会議の活性化が必要③保育コンシェルジュの取り組み。

答 ①国基準に基づき公表する②多様な課題等を設定し議論していくことも検討③保護者に育児に関する必要な情報を適時適切に提供できるよう努める。

林 則行

(千代田)

高齢者施設整備と認知症カフェ

問 ①今後10年の高齢者施設の整備数②介護保険料増加の許容範囲は③認知症カフェの整備数と、期待する効果は④開設時期と設置場所、運営主体は。

答 ①3カ所を計画②37年に約9,000円増と試算。抑制策を講じる③2カ所。認知症者と家族にとり地域とのつながりの場となる④27年度に麴町と神田に各1カ所。社会福祉法人に委託予定。

東京都長期ビジョンと区の関係

問 ①都長期ビジョン8つの都市戦略で、ちよだみらいプロジェクトと方向性一致のものは②25の政策指針中、共同で進められる事業は③都との連携は。

答 ①②地域限定のもの以外は全て方向性が一致③常日頃から意見交換を行い、連携・協力関係を築いている。



平成27年第1回定例区議会

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案26件及び議員提出議案1件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案17件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。
「千代田区組織条例の一部を改正する条例」は、「豊かな地域社会」の実現を目指す新たな基本計画の推進と、オリンピック・パラリンピック開催を契機とする中長期の取り組みを推進していく体制を構築するため、部の再編を含む組織の抜本的見直しを行うものです。施行は平成27年4月1日からです。

〈審査経過〉

質疑の中で、「政策経営部、区民生活部、保健福祉部、まちづくり推進部、環境安全部」を「保健福祉部、地域振興部、環境まちづくり部、政策経営部」に改称すること、事業部制の良さをより発揮させるために、政策経営部は下支えするという位置付けを明確にしたことが明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

政策経営部の位置付け等の理念は共感できるが、現場の職員の声を聞かず、新たな係の仕事の内容も定まっていない等、中長期的な取り組みを推進する組織改正としては、拙速すぎると言わざるを得ない。(木村)

【賛成の意見】

組織改正案が提案されるまでの時間が短すぎ遺憾であるが、区長をはじめ、執行機関から反省の弁があった。この再編により、効果ある組織体制とすることと、今後このような時期を逸した提案がなされないことを期待する。(石渡)

今回の組織改正は、各事業部の自主的な活動により、物事が発信され、それを政策経営部が横断的に総合調整役として下支えする。政策経営部がその役割を意識していけば、これまで課題であった事業部制を生かせる。(中村)

その他、「千代田区高齢者福祉基金条例」「千代田区環境対策基金条例」「千代田区子ども・子育て支援事業基金条例」等関連する6議案は、区の目指すべき10年後を見据え、いかなる財政状況下でも、福祉、子育て、環境分野について、着実に施策を推進する財源を確保するために基金の再編を行うものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、基金の再編は、各事業部の目的に合わせて、自主的に責任を持ち、事業に取り組むことを明確にしたこと等が明らかになりました。

生活福祉委員会

議案8件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。
「千代田区地域福祉活動支援基金条例の一部を改正する条例」は、地域福祉の向上を目的とする事業の推進のため、基金の用途範囲を拡大するものです。また、基金の名称を「地域福祉支援基金」に改めます。公布の日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、運用型基金から取り崩し型基金へ移行し、基金の運用益だけでなく、元本部分も活用できるようになり、今後はその用途や積立ルールについて検討することや、障害者施策等にも活用していくこと等が明らかになりました。

「千代田区介護保険条例の一部を改正する条例」は、第6期介護保険事業計画の策定に伴い、平成27年度から平成29年度までの第1号被保険者の介護保険料を定める他、規定を整備するものです。施行は本年4月1日とし、低所得者に対する保険料軽減措置は規則で定める日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、第6期の計画では保険料の段階が12から15段階になったこと、第5期の保険料に比べ第1・第2段階は保険料が安くなること等が明らかになりました。

委員からは、制度が複雑化している中で、区民への周知方法を検討すべきとの指摘があり、執行機関からは、これまでの背景を含め丁寧に説明していくとの回答がありました。

「千代田区立高齢者総合サポートセンターの指定管理者の指定について」は、地方自治法の規定に基づき、議会の議決に付すものです。指定候補者は、「社会福祉法人千代田区社会福祉協議会」で、指定期間は、平成27年度中において高齢者総合サポートセンターを設置する日から平成33年3月31日までです。

〈審査経過〉

質疑の中で、指定にあたり審査項目の「多世代交流拠点」としての提案内容等は、今後基本協定を締結していく中で、既存の事業を踏まえ更に幅広く展開できるようにすること、また、人材育成の拠点として広範な人材の育成が求められる中で、区内の専修学校や関係団体と連携を密にしていくこと等が明らかになりました。

平成27年第1回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



環境文教委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区立九段中等教育学校教育職員の配偶者同行休業に関する条例」は、地方公務員法の一部改正に伴い、公務において活躍することが期待される有為な地方公務員の継続的な勤務を促進するため、職員が、外国で勤務等をする配偶者と生活を共にすることを可能とする休業制度を定めるものです。本条例は、九段中等教育学校後期課程の教育職員を対象とし、施行は平成27年4月1日からです。

休業の期間は、3年を超えない範囲内（この範囲内において1回限り延長可）であること、休業中の職員には、給与は支給しないこと等の報告がありました。

〈審査経過〉

質疑の中で、九段中等教育学校教育職員の任命権は前期・後期課程とも千代田区教育委員会にあるが、前期課程の教育職員は、東京都が給与を負担するため、給与や勤務条件等は東京都の条例が適用されていること、後期課程の教育職員についても前期課程の教育職員と同じ制度を適用する必要があるため、本条例で「東京都職員の配偶者同行休業に関する条例の適用を受ける職員の例によること」と規定すること、また、同行休業中は、正規教諭が代替として配置されること等が明らかになりました。

「千代田区立九段中等教育学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例」は、「千代田区立九段中等教育学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例」「千代田区立九段中等教育学校教育職員の育児休業等に関する条例」「千代田区立九段中等教育学校教育職員の給与等に関する条例」「千代田区立九段中等教育学校教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例」の4条例について、「教育職員」の定義を改正するものです。現行4条例で、「教育職員」の定義を「教頭」「教諭」「養護教諭」等と列挙しているものを、「教育公務員特例法第2条第2項に規定する教員」等と改めるもので、法令に準拠するかたちで規定整備するものです。公布の日から施行し、平成20年4月1日にさかのぼって適用します。



特別委員会



公共施設整備特別委員会

執行機関から、23区における特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の整備状況について報告がありました。委員からは、特別養護老人ホームの入所基準見直しについて質疑があり、要介護度を重視した点数配分となるポイント制に改めること等が明らかになりました。65歳以上人口は、昨年1月現在10,150人で、10年後は12,000人程度となり、今後、推計に見合った施設整備を行うとの答弁がありました。

駅及び駅周辺環境整備特別委員会

飯田橋駅関連では、ホームの安全対策、東口での下水道工事等の報告があり、また、東京メトロ東西線輸送改善工事関係では、工事時間帯や地元説明会について議論されました。

次に、御茶ノ水駅関連では、周辺道路整備や駅のバリアフリー化工事の進捗及びお茶の水橋長寿命化修繕工事について、また、神田駅関連では、JR駅舎の改修工事や駅周辺道路整備、神田駅周辺環境整備懇話会の開催等の報告がありました。

商工観光施策特別委員会

執行機関から「平成27年さくらまつの概要」について報告がありました。委員からライトアップについて質疑があり、本年もLEDライトで実施すること等を確認しました。

次に「水辺を魅力ある都市空間に再生する条例」について、区議会だより臨時号の原稿(案)を確認し、委員からは区議会ホームページでの広報について質疑がありました。

その他、委員会の懸案事項について確認しました。

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

執行機関から、「千代田区オリンピック・パラリンピック推進プロジェクト」の最終案について報告がありました。

これまでの議論を踏まえ、喫煙対策に関し、全区的にバランスのとれた喫煙場所の設置等、計画案の一部が修正されました。今後も社会情勢や区民ニーズの変化等に伴い、計画の追加や見直しを行うことが明らかになり、大会開催に向け着実に計画を実施するよう執行機関に申し入れました。

平成27年度 予算審査から

平成27年度当初予算4議案及び平成26年度補正予算2議案は、全議員で構成する予算特別委員会を設置し審査しました。委員会では、まず補正予算2議案を審査し、いずれも賛成全員で可決しました。当初予算は、概要説明を受けたのち、企画総務、生活福祉、環境文教の3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え採決に入ったところ、当初予算4議案のうち、介護保険特別会計予算は賛成全員で、その他の当初予算はいずれも賛成多数で可決しました。

予算特別委員会における討論 【反対の意見】

国保に多くの低所得世帯が加入している中、国保料が大幅値上げとなること、中堅所得者向け住宅や公共住宅の供給が区民の願いにもかかわらず課題に恵えていないこと、教育委員会との協議が不十分なまま強引に組織整備を進めたこと等から、介護保険特別会計を除く各会計予算に反対する。(木村)

【賛成の意見】

区民の暮らしに身近な保健福祉事業、次世代育成事業等が最優先で予算化されている。また、シティプロモーションの推進等、区の魅力を内外に発信する予算である。説明責任を果たし、議会との意思疎通を図りながら予算を迅速かつ円滑に執行することを要望し、各会計予算に賛成する。(高山)

麴町・神田両あんしんセンター、出張所及び社会福祉協議会への予算拡充等は、豊かな地域社会実現に必要なコミュニティの形成や地域の自治につながり評価できる。区民と豊かな地域社会実現という目標を共有し、ともに担う姿勢を持って推進することを要望し、各会計予算に賛成する。(大串)

国の介護保険制度の後退を一般施策でカバーする努力や乳幼児の需要を受けとめるための保育園増設、病児・病後児への対策は評価できる。東松下町計画は手順・手続が不確定な部分があるが、基金再編や経常収支比率、人件費比率は適正なものと評価できることから、各会計予算に賛成する。(寺沢)

豊かな地域社会を築くために必要な子育てや高齢者施策等、区民の暮らしに身近な分野へ力を注いだ予算であり、議案の修正や否決する理由は見受けられない。児童遊園の一部を自転車駐輪場として使う等、地域区民の要望に柔軟かつスピーディに対応することを期待し、各会計予算に賛成する。(安岡)

保育コンシェルジュの設置等、保育の質を確保するための施策は評価でき、バリアフリー化、景観に配慮したサイン計画は、まちづくりや観光振興施策を具体的に推進していくことが期待できる。喫煙所設置や放置自転車対策では、さまざまな手法の検討を要望し、各会計予算に賛成する。(岩佐)

複合施設を建て替え又は再編する際は、目的等を精査し構想及び設計に入ること、職員の人材育成を図るための研究組織を設置すること等が明らかになった。今後も、職員育成の観点から、安定した行政サービスの提供と財政基盤を確立したうえでの区政運営を要望し、各会計予算に賛成する。(はやお)

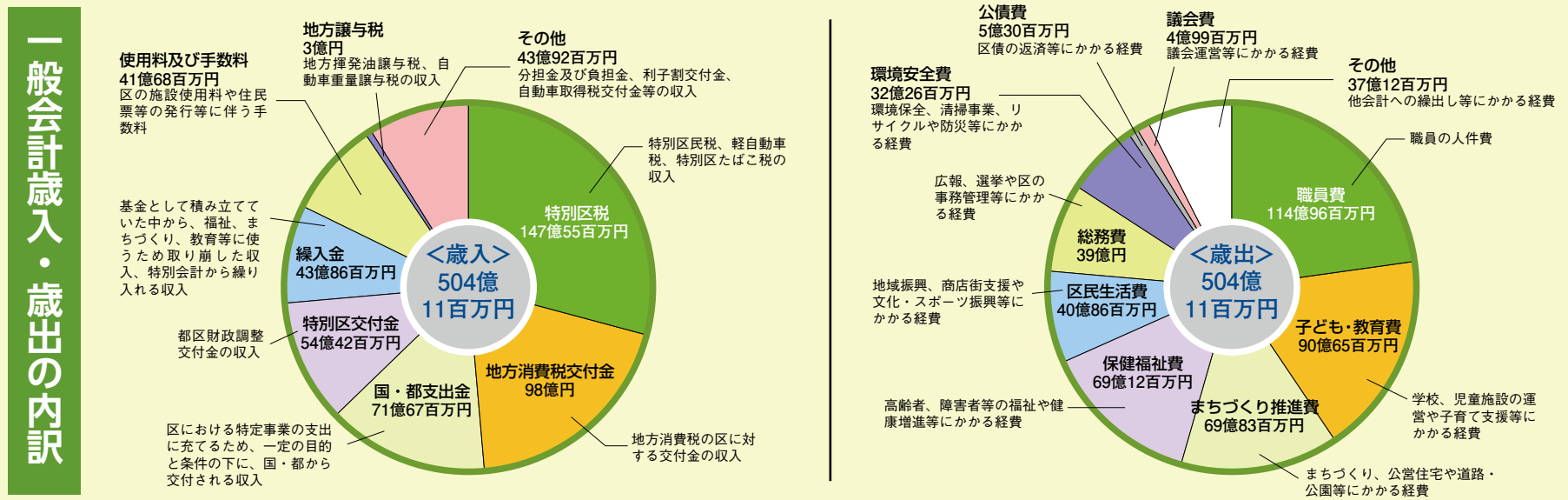
大幅な増収が見込めない中、基金を再編し、高齢者福祉、子育て支援、環境対策等、豊かな地域社会実現に向け安定的かつ着実に施策を推進している。事業化のプロセス等課題があるが、議会の意見に耳を傾け、事業の迅速かつ円滑な実施に向け努力することを期待し、各会計予算に賛成する。(内田)

第6期介護保険事業計画では、保険料の多段階化等で保険料上昇を抑制し、低所得者の保険料を低くしたことは評価できる。利用料自己負担増及び介護報酬引き下げによる事業者への負担増を軽減する独自事業も評価できる。今後も継続することを求め、介護保険特別会計予算案に賛成する。(飯島)

各会計予算の規模

(単位：百万円)				
会計名	平成27年度	平成26年度	増(△)減額	増(△)減率
一般会計	50,411	47,169	3,241	6.9%
国民健康保険事業会計	5,982	5,117	865	16.9%
介護保険特別会計	4,363	4,127	237	5.7%
後期高齢者医療特別会計	1,533	1,454	79	5.4%
全会計合計	62,289	57,867	4,422	7.6%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。





今定例区議会で可決した意見書(要旨)

ヘイトスピーチ対策の検討を求める意見書

近年、一部の国や民族あるいは特定の国籍の外国人を排斥する差別的言動(ヘイトスピーチ)が社会問題化している状況にあります。

言うまでもなく、人種や民族、国籍等の違いから生じる差別は決して許されるものではなく、こうした問題が生じていることは、極めて遺憾です。

我が国は、国民の自由と権利を保障するとともに、基本的人権を尊重し、法の支配を尊ぶ民主主義国家であり、これまでも外国人に対する差別や偏見をなくす啓発活動に取り組んできたところですが、行き過ぎた行為により、これまで国際社会との関係を誠実に築き上げてきた我が国の品位と名誉が傷つくことが懸念されています。

よって、国においては、慎重に表現の自由に十分配慮しつつ、法整備も含めて、ヘイトスピーチ対策について、検討することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。
(提出先) 内閣総理大臣・法務大臣



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

【反対の意見】

国民皆保険制度を支える土台として、国保制度の再生を図るには、払える国保料に改善することが不可欠である。そのためには、一般会計からの繰り入れによる均等割額の更なる軽減と、減免制度の運用改善が必要であることを強調し反対する。
(木村)

【賛成の意見】

高額療養費等の一部を賦課総額へ算入し、保険料率等を改定するもので、国保制度改革の動向を踏まえている。また、保険料の急激な上昇を避け、本区の国保財政運営の中長期的な安定化を図るものであり、均等割と所得割の賦課割合も低所得世帯への一定の配慮がなされているため賛成する。(石渡)

平成27年第1回定例区議会 会期日程(会期27日間)

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
2 / 13	議会運営委員会 本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)	2 / 27	商工観光施策特別委員会 オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
16	議会運営委員会	3 / 2	公共施設整備特別委員会 駅及び駅周辺環境整備特別委員会
19	議会運営委員会 本会議(代表質問・一般質問)	3	議会運営委員会 本会議(議案の議決等)
20	議会運営委員会 本会議(一般質問・議案の付託等) 予算特別委員会	4	予算特別委員会(総括)
23	企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会	5	予算特別委員会(総括)
24	予算特別委員会	6	企画総務委員会 生活福祉委員会 環境文教委員会
25	予算特別委員会(分科会)	10	議会運営委員会
26	予算特別委員会(分科会)	11	議会運営委員会 本会議(議案の議決等)

委員会で取り扱った陳情(平成26年12月25日～平成27年3月30日) ※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳 情 名(受付順に掲載)	送付委員会 ()は参考送付	審査状況 (平成27年3月30日現在)
神田地区の認可保育園等の早急な整備と延長保育、病後児保育等の充実を求める陳情	環境文教委員会	審査終了
芳林公園喫煙所の廃止または整備を求める	環境文教委員会	審査終了
借上型区民住宅の借上期間が満了した後の方針の早期決定の陳情について	企画総務委員会	審査終了
町会補助金交付のお願い	生活福祉委員会	審査終了
神田地区での認可保育園等の増設と保育園送迎用駐輪場の整備等を求める陳情	環境文教委員会	審査終了
「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書提出について	(生活福祉委員会)	審査終了

12月～2月の主な活動

月／日	日 程	月／日	日 程
12 / 25	議会運営委員会 企画総務委員会 環境文教委員会	1 / 28	区民集会運営協議会
1 / 13	生活福祉委員会	2 / 2	環境文教委員会
15	企画総務委員会	4	企画総務委員会
19	公共施設整備特別委員会 商工観光施策特別委員会	5	生活福祉委員会
23	議会運営委員会 環境文教委員会 環境文教委員会国内行政調査【靖国神社等】	6	〈平成27年第1回千代田区議会定例会告示日〉 議会運営委員会
		12	議会運営委員会

区議会の構成が新しくなります

4月26日に区議会議員選挙が行われました。
5月から区議会の構成が新しくなり、議長を始め、副議長や委員会の委員等が決まります。
新しい区議会の構成は、今後の区議会だよりで詳しくお知らせします。

議案の審議結果等（平成27年第1回定例区議会）															可…可決/否…否決/○…賛成/×…反対 欠…欠席/退…退席/除…除斥																	
議 員 名 等 議 案 名 等		出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日
							う さ み 正 記 行 革 ク	林 則 行 千 代 田	河 合 郎 千 代 田	は や お 恭 一 千 代 田	高 澤 秀 行 千 代 田	安 岡 けん じ 行 革 ク	永 田 壮 一 自 民	内 田 直 之 自 民	嶋 崎 秀 彦 自 民	小 林 た か や 声	寺 沢 文 子 声	岩 佐 り よ う 子 主	欠 員	大 串 ひろ やす 公	山 田 なが ひ で 公	小 林 やす お 自	松 本 佳 子 自	桜 井 た だ し 自	飯 島 和 子 共 産	木 村 正 明 共 産	中 村 つ ね お ネ ッ ト	高 山 は じ め 自 民	戸 張 孝 次 郎 自 民	鳥 海 隆 弘 自 民	石 渡 伸 幸 自 民	
委 員 会 提 出 議 案	水辺を魅力ある都市空間に再生する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	ヘイトスピーチ対策の検討を求める意見書	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/11
議 員 提 出 議 案	千代田区議会委員会条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/11
区 長 提 出 議 案	平成26年度千代田区一般会計補正予算第 3 号	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	平成26年度千代田区介護保険特別会計補正予算第 1 号	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	平成27年度千代田区一般会計予算	23	22	20	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	○	欠	○	○	3/11
	平成27年度千代田区国民健康保険事業会計予算	23	22	20	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	○	欠	○	○	3/11
	平成27年度千代田区介護保険特別会計予算	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/11
	平成27年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算	23	22	20	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	○	欠	○	○	3/11
	千代田区情報公開条例及び千代田区個人情報保護条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区行政手続条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	職員の配偶者同行休業に関する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	公益的法人等への千代田区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	は	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区高齢者福祉基金条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	採	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区環境対策基金条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区子ども・子育て支援事業基金条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	決	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区減債基金条例を廃止する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区地域福祉活動支援基金条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	に	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区非常災害対策基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	加	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	わ	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	り	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区地域包括支援センターにおける職員等の基準に関する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区介護保険条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	ま	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区建築審査会条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区立九段中等教育学校教育職員の配偶者同行休業に関する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	せ	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区立九段中等教育学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	ん	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区立高齢者総合サポートセンターの指定管理者の指定について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区立高齢者センターの指定管理者の指定の一部変更について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区組織条例の一部を改正する条例	23	22	18	4	可	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	○			○	○	○	○	×	×	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	区立麴町保育園新築工事請負契約について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	区立麴町保育園新築給排水・空調設備工事請負契約について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	国指定史跡常盤橋門跡常磐橋復旧工事Ⅰ期請負契約について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/3
	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	23	22	20	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	×	×	○	○	欠	○	○	3/11
	千代田区行政監察員の選任の同意について（2件）	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	3/11
議 員 提 出 議 案	千代田区議会議員政治倫理条例	継 続 審 査																														
報 告	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について（3件）	――																														2/20

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名 欠員1名